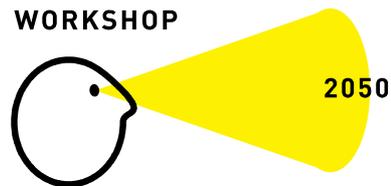


# 北播磨地域デザイン会議 実施報告書



## 北播磨の 未来を描く ワークショップ

KITAHARIMA  
DRAW VISION  
WORKSHOP



第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
09.27	10.11	10.25	11.08	11.29
@三木市	@加西市	@西脇市	@加東市	@小野市

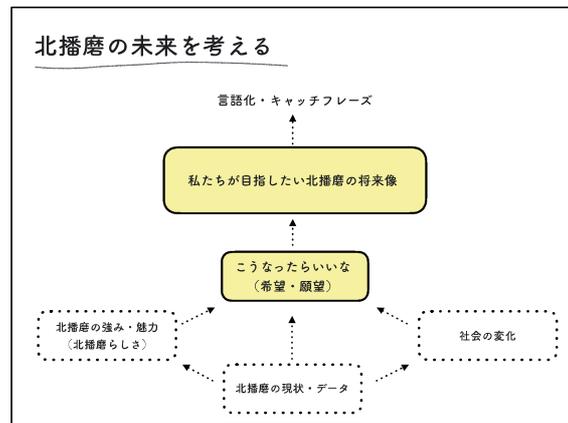
兵庫県北播磨県民局では、みんなで目指したいと思える地域の30年後の将来像『地域ビジョン』の策定を進めています。その将来像に、北播磨地域（西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町）に住む、働く、学ぶ「これからを担う若い世代」のみなさまの意見を反映させるべく、北播磨への想いを出し合い、一つの形にまとめて「北播磨の未来を描くワークショップ」を開催します。地域への想いをぜひ語り合いませんか？

## 北播磨地域デザイン会議

### 「北播磨の未来を描くワークショップ」の概要

#### 《目的》

30年度の北播磨地域についてのビジョンを若い世代が考えることで、北播磨地域の将来を自分ごととして考え、愛着をもてる若者を増やし、将来のビジョン委員を育成するとともに、若い世代の意見や考えを踏まえた新たな地域ビジョンの元となる地域デザイン及びキャッチコピーを創出する。



ワークショップの組み立て

#### 《開催概要》

■開催回数：全5回

■開催方法：対面式ワークショップ。第2回～第4回はオンラインと併用開催。

■開催日時、会場：

- ・第1回：9月27日（日）10:00～12:30 三木市立市民活動センター（三木市）
- ・第2回：10月11日（日）10:00～12:30 加西市民会館コミュニティセンター（加西市）
- ・第3回：10月25日（日）10:00～12:30 西脇市茜が丘複合施設 Miraie（西脇市）
- ・第4回：11月8日（日）10:00～12:30 滝野文化会館（加東市）
- ・第5回：11月29日（日）10:00～12:30 うるおい交流館エクラ（小野市）

#### 《参加者情報》

■延べ参加人数：100名（会場参加：89名、オンライン参加：11名）

■正味参加人数：43名

・地域別

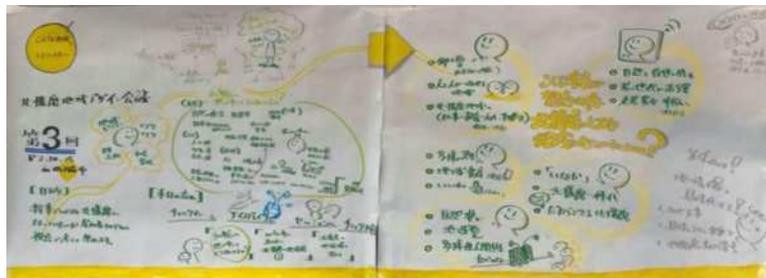
市町	人数
西脇市	5名
三木市	14名
小野市	5名
加西市	4名
加東市	8名
多可町	6名
他	1名
合計	43名

・年齢別

年齢層	人数
24歳以下	6名
25～29歳	3名
30～34歳	6名
35～39歳	7名
40～44歳	6名
45歳以上	11名
不明	4名
合計	43名

# 全ワークショップ グラフィックレコーディング一覧

各回のワークショップで議論した経緯を、会場で記録されたグラフィック一覧です。



## 第1回ワークショップ 開催報告

### 《実施概要》

- 日時：2020年9月27日（日） 10:00～12:30
- 会場：三木市立市民活動センター 大会議室（三木市）
- 参加者：23名
- プログラム：
  - 1.北播磨県民局より事業の主旨説明
  - 2.アイスブレイク：共通点探し
  - 3.ペアワーク：北播磨らしさを探るインタビューワーク & 他已紹介
  - 4.グループワーク：私たちが思う「北播磨の魅力・強み（北播磨らしさ）」

### 《当日の内容》

第1回は、これから共に北播磨の将来像を考えていくメンバー同士の関係づくりを中心に、参加者自身が北播磨についてどのようなことを感じているのかを共有する内容を中心に実施しました。

まずは参加者自身の北播磨地域への関わりをペアでインタビュー。「この地域に住んで（関わって）良かったな／良くなかったなと思うこと」や「北播磨を知らない人にすすめる私の北播磨自慢！」などの設問から、普段の北播磨に対しどのように感じているかを確認しました。

それらを元に、グループごとに「北播磨の強み・魅力」を検討。北播磨の特徴を出すと同時に、「他地域にも自然はたくさんあるが、北播磨の自然って何がいいのだろう？」など、どのような点が「北播磨らしさ」なのかについても語り合いました。これから地域ビジョンを考えていくにあたり、他の地域にはない北播磨ならではのポイントを見つけることが大事であることを全体で共有した1回目の開催でした。

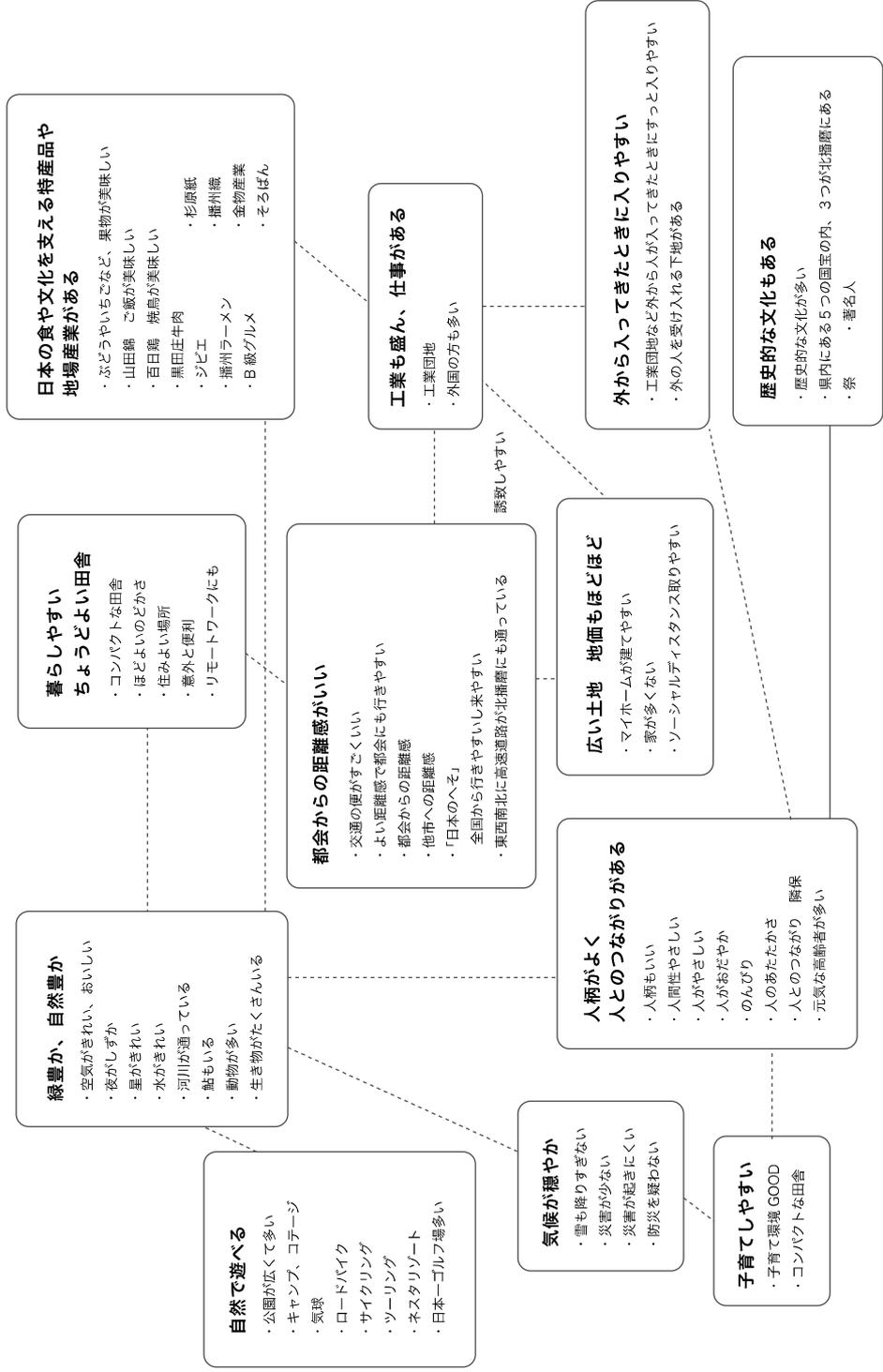
### インタビューで見えてきた北播磨の印象

田舎／のんびりしている／のどかさ／暮らしやすい／日本酒・山田錦／金物・播州織／災害が少ない／都会との距離（良くも悪くも）／果物／空気がきれい／コンパクトな田舎／人とのつながり・あたたかい／前向きな人が多い／情報が入らない／近所がわかる／歴史伝統があるが伝わっていない／地域のかたまりの強さ／季節が感じられる など



《第1回 グループワークまとめ》

2020/09/27 第1回 北播磨の未来を描くワークショップ  
グループワーク 「私たちが思う北播磨の強み・魅力」まとめ



## 第2回ワークショップ 開催報告

### 《実施概要》

- 日時：2020年10月11日（日） 10:00～12:30
- 会場：加西市民会館コミュニティセンター 小ホール（加西市）
- 参加者：13名（会場参加：10名、オンライン参加：3名）
- プログラム：
  - 1.前回の振り返り、グループごとに自己紹介
  - 2.情報共有：データで見る北播磨（北播磨県民局より）
  - 3.感想共有・質疑応答：情報提供から印象に残ったこと・気になったこと
  - 4.グループワーク：こんな北播磨だからこそ目指したい30年後の地域像

### 《当日の内容》

第2回は、北播磨地域が今どのような地域であるかを把握した上で、これからどのような地域を目指していくのが良いかを話し合いました。また第2回目からオンライン参加も実施し、オンライン上のグループで話し合いました。

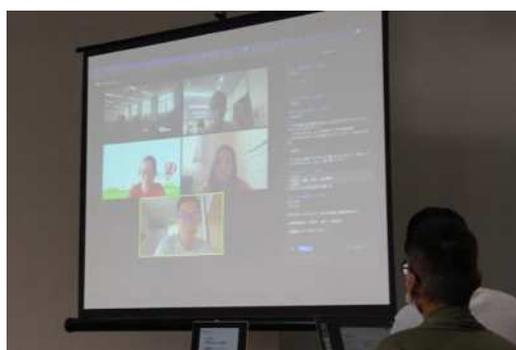
最初の情報提供は北播磨県民局から行っていただきました。人口動態、子育て・医療体制、進学・就職状況、産業構造・雇用状況、観光・まちづくり、交通整備、県民の意識調査など、様々な視点から現状と将来予測についてデータを紹介。

それらの現状についてどのような印象を受けたかなど感想を分かち合った上で、将来像の検討を行いました。まずは個人が目指していきたい将来像を考え、

それらをグループで共有。参加者それぞれ印象に残ったポイントは様々ですが、目指したい姿を語り合う中で、共通して大事にしたいポイントや大切にしたいポイントの関係性などを探りました。

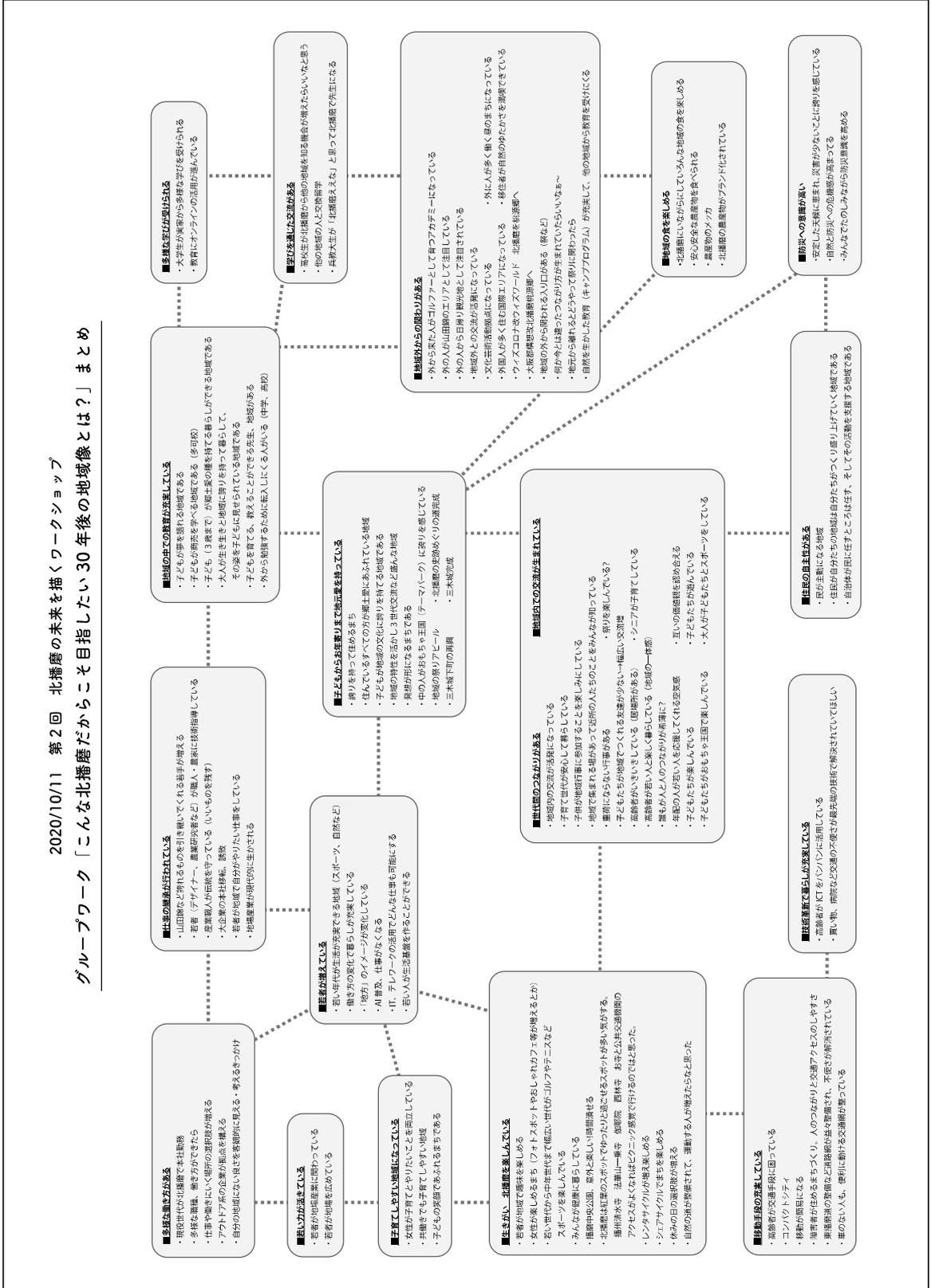
### 「データから見る北播磨」感想共有

外国人の人口が増えている実感はあったが、データで見ると納得／特に女性の人口減少／イベント頑張っている、応援したい／産業別に分けると特徴が見つけられる／地元愛の低さに驚き。いいものがあったても知らないのか、関心が薄いのか／スポーツレクリエーション分野一位がすごい／農業が栄えているが後継がない／ など



## 《第2回 グループワークまとめ》

### 2020/10/11 第2回 北播磨の未来を描くワークショップ グループワーク 「こんな北播磨だからこそ目指したい30年後の地域像とは？」まとめ



### 第3回ワークショップ 開催報告

#### 《実施概要》

- 日時：2020年10月25日（日） 10:00～12:30
- 会場：西脇市茜が丘複合施設 Miraie 多目的ホール（西脇市）
- 参加者：24名（会場参加：20名、オンライン参加：4名）
- プログラム：
  - 1.前回の振り返り、アイスブレイク：最近新たに知ったこと・学んだこと
  - 2.グループワーク：30年後の世の中ってどうなっている？
  - 3.個人ワーク：30年後の私の状況をイメージ
  - 4.グループワーク：こんな未来が想定される中で、北播磨はどんな地域になっっているといい？

#### 《当日の内容》

第3回は、まず目指すビジョンで設定される30年後の未来のイメージを全体で共有しました。右表のような世の中が想定される中で、私達の北播磨地域はどのような地域になっていくといいか。今回はオンライン参加者も会場参加者も、全員でグループを交代しながら北播磨の将来像を検討しました。

最後に話し合いを踏まえ「これから大事にしていきたいポイントは？」に

ついて各グループでまとめ。未来視点から「人と人がつながる」「いいねが言い合える」「若い世代が活躍」「郷土愛が育める」「地域資産を守り発信する」「自然や田舎の良さを残す」「いなかだからできる」などの意見とともに、第1回・第2回ではあまり出ていなかった「多様な人が共生する」「壁のない地域」「北播磨全域が身近に感じられる」「北播磨の一体化」などのポイントも話し合われことが印象的でした。

#### 「30年後の世の中どうなっている？」

- ・人口減少 ・外国籍の人の増加
- ・地元が出る人が増える
- ・人との出会いがなくなる
- ・田舎の価値が高まる ・資源の取り合い
- ・通勤なくなり、都会と田舎の境目がなくなる
- ・技術革新の進歩により情報格差が起こる
- ・自動運転など交通アクセスの向上





## 第4回ワークショップ 開催報告

### 《実施概要》

- 日時：2020年11月8日（日） 10:00～12:30
- 会場：滝野文化会館 研修室（加東市）
- 参加者：18名（会場参加：14名、オンライン参加：4名）
- プログラム：

- 1.前回の振り返り、アイスブレイク：最近私が感じた「北播磨らしさ」
- 2.情報共有：30年後の未来を知る
- 3.個人ワーク：北播磨は将来こんなまちであってほしい
- 4.グループワーク：テーマごとに地域デザイン案を検討

### 《当日の内容》

第4回では前回の流れから、兵庫県が考える30年後の将来構想を共有。具体的に想定される地域の将来イメージと、これまでの話し合いの内容踏まえ、右表のように参加者一人一人が描きたい北播磨の地域像を考えました。

それを元に、テーマが近いメンバー同士でグループづくり。今回は「個人の自己実現」「多様性・共生共存」「子育て・教育」「自然・農業」の4つのテーマに分かれました。

それぞれのグループで目指したい地域像「地域デザイン案」を検討。「なぜ目指すのか」「どのような良いことがあるのか」などを具体的に考える中で、北播磨だからこそその地域像を明らかにすることを目指しました。

### 個人ワークの内容

- ・アクセスが良く自分らしい生き方ができる人と人がつながり住み続けられる地域
- ・日本で一番「こう生きたい」「こう暮らしたい」の宣言がある地域
- ・みんなが北播磨で生きがいを見つけ、人とのつながりを大切に楽しんでいる
- ・穀物を中心とした農産物の研究が盛んな地域
- ・大自然が育む農産物を中心とした体験型の魅力を自信を持って発信していける地域
- ・小規模循環型、住みやすい（そこそこ）便利な田舎
- ・高齢者、若者、女性、外国人など多様な人が地域づくりに参画する北播磨
- ・お母さんがイキイキしている地域 など



《第4回 グループワークまとめ》

2020/11/08 第4回 北播磨の未来を描くワークショップ  
グループワーク「30年後の北播磨で目指したい地域像」まとめ

<p>■グループ1：テーマ「個人の自己実現」 30年後の北播磨で目指したい地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本のスタンダードになる！「子午線が通る地域」</li> <li>自分らしさを愛護し発信する</li> <li>時代の流れで変化してきた。だからこれから何にでもなれる！</li> <li>リアルにつながる地域</li> <li>みんなで作る「北播磨の文化」。</li> <li>受け入れるキャラがある</li> </ul>	<p>①なぜ、その地域像を目指したいか (北播磨だからこそ理由、予想される社会変化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時代の流れに応じて後継者</li> <li>自分ややりたいことができない選択肢がある地域になれば</li> <li>自分のやりたいことを選択している</li> <li>それを楽しんで自分の好きなことをしている地域は魅力的だから</li> <li>フロア時代の時代に入ら集まる場所</li> <li>従来：アウトプット 今後：アウトプット →文化は磨かれる →地域愛が育まれる →自己を完了し他を受け入れる</li> <li>1人ひとりの主体的な行動(トライ&amp;エラー)から</li> </ul>	<p>②その将来像では具体的にどのような良いことが置まれているでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化が磨かれる</li> <li>地域愛が育まれる</li> <li>自分の好きなことを自己表現できると、同じ趣味を持つ人が集まって自然とコミュニティができる</li> <li>価値観を共有できる人たちの集まりができる</li> <li>リアルにつながることで人口が増える</li> <li>自己が完了することで他を受け入れられる(多様性が生まれる)</li> <li>自分らしく、いろんな選択肢があれば外からの人も住み続けられる</li> <li>ワクワクしてくる</li> </ul>	<p>③その将来像の実現に必要なアイデア・ステップは？</p> <p>こうしたい、こうらしらしたいという動画を撮る、北播磨の人の想いを伝える。</p> <p>アウトプットする場</p> <p>「個人が「なりたいたい」を発信する場をつくる</p> <p>「みんなが、私とこれかしたい！」といえる場所をつくる</p> <p>「問い」を投げかける！→考えをききかけ</p> <p>アウトプットしやすい雰囲気づくりが大事</p> <p>みんなで作れる文化歴史情報の体系化と提供</p>
<p>■グループ2：テーマ「多様性・共生共存」 30年後の北播磨で目指したい地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生社会(北播磨らしさがある)</li> <li>北播磨が兵庫の中心</li> <li>高齢者がキーワード</li> <li>意識改革</li> </ul>	<p>①なぜ、その地域像を目指したいか (北播磨だからこそ理由、予想される社会変化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の運営ができていない現状の中で、外国人、女性、高齢者の参加が求められる</li> <li>北播磨らしさ、農業などの要素にも重要。女性、若い人、が参画できる社会が北播磨に必要</li> <li>多様性、外国人との暮らしが共有できれば、他の共生ができる</li> <li>多様性の問題がクリアできれば、他の問題も解決できるのでは</li> <li>①外国人が親(加東市、会館的) ②マイノリティが住みやすい社会はすべての人たちににとって住みやすい世界</li> <li>①外国人労働者増 ②二世帯世帯増</li> <li>若い世代、コロナで田舎に興味を持っている</li> <li>北播磨は自然から流入が有りうる</li> <li>他から受け入れやすい地域、人間性があったかい</li> </ul>	<p>②その将来像では具体的にどのような良いことが置まれているでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の運営に女性の意見が受け入れられる</li> <li>すべての人達に対するハードルが下がる</li> <li>子ども、高齢者、障害者の意見が受け入れられる</li> <li>外国人の強みが地域で生かされる(プロサッカー選手が生まれる)</li> <li>シティプロモーションにつながる</li> <li>日本の自慢を認識</li> <li>多様性が波及すると伝統や文化の継承にもつながる</li> <li>女性が強くなる</li> </ul>	<p>③その将来像の実現に必要なアイデア・ステップは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと住んでいる住民の意識改革、情報と教育</li> <li>コミュニティ、交流機会をつくる</li> <li>田舎のおうちちゃんと交流する、お祭り、イベント、お酒</li> <li>今の世の中の価値観を広める地域エンタターのリーダー</li> <li>へっちゃらな精神</li> </ul>
<p>■グループ3：テーマ「子育て・教育」 30年後の北播磨で目指したい地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが自分でできる地域</li> </ul>	<p>①なぜ、その地域像を目指したいか (北播磨だからこそ理由、予想される社会変化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>深淵にしたい</li> <li>担っていかないとと思える地域をつくりたい</li> <li>自分がやってもらって嬉しいことを次は自分が！という気持ち</li> <li>ほどよい田舎</li> <li>種心へのアクセスOK、自然がある</li> </ul>	<p>②その将来像では具体的にどのような良いことが置まれているでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幸せそうな所に入りが寄ってくる</li> <li>地域活動を考えてみる子どもも増える</li> <li>いいことの連鎖</li> </ul>	<p>③その将来像の実現に必要なアイデア・ステップは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トライやるcamp</li> <li>国際村</li> </ul>
<p>■グループ4：テーマ「自然・農業」 30年後の北播磨で目指したい地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ちょうどよい自然が育む農産物を中心とした地域文化の体験型魅力を自信を持って発信し、地元の人びとが日々新しい発見をできる地域</li> </ul>	<p>①なぜ、その地域像を目指したいか (北播磨だからこそ理由、予想される社会変化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑は長い、景色移り変わりが、コリアン、コリアン近辺、</li> <li>霜(雪)の風景</li> <li>空がきれい</li> <li>北播磨の山高くない、夕日きれい、</li> <li>川(加古川・美濃川・杉原川)、川のめぐみで育まれた地域</li> </ul>	<p>②その将来像では具体的にどのような良いことが置まれているでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部から人を呼ぶより中部から出る</li> <li>地域の人から自主的に</li> <li>自分たちの地域の魅力</li> <li>小規模集落型の新しいくらし</li> <li>ツアーやPR</li> <li>×瀬戸や三田のような都会を目指す</li> <li>○ちょうどよい田舎を目指す</li> </ul>	<p>③その将来像の実現に必要なアイデア・ステップは？</p> <p>まずは地元の人びとを知ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食</li> <li>体験(田植えなど)→温泉</li> <li>地元限定</li> <li>川、コリアン、山</li> </ul>

## 第5回ワークショップ 開催報告

### 《実施概要》

- 日時：2020年11月29日（日） 10:00～12:30
- 会場：うるおい交流館エクラ 市民交流ホール（小野市）
- 参加者：22名
- プログラム：
  - 1.前回の振り返り
  - 2.グループワーク：これからの北播磨で大事にしたいポイント・要素の確認
  - 3.個人ワーク：これからの北播磨で目指したい地域像を象徴するキャッチコピー
  - 4.全体ワーク：キャッチコピー案の整理

### 《当日の内容》

第5回ではこれまでの検討内容を踏まえ、目指したい地域像を象徴するキャッチコピーを検討しました。

まずは前回検討した地域デザイン案ごとに「これからの北播磨で大事にしたい要素・ポイント」をグループごとに話し合い。次頁のように、それぞれのデザイン案で大事にしたいことと全体的に大事にしていきたい要素が出されました。

それらの要素を会場全体で共有した上で、キャッチコピー案を検討。30年後の北播磨地域を担う若い世代の参加者が、これから目指していきたい地域像を象徴するような表現として、

どんなフレーズ・キーワードをビジョン検討委員会に届けたいか。全員で検討し、言葉の思いを確認しながら、候補となるキャッチコピー案を選びました。

### キャッチコピー案

- ・のんびり あったかい 北播磨時間が標準時
- ・次世代の「やりたい！」を叶えるグローバルな北播磨
- ・べっちょないがつなげる街
- ・ひょうごの中心で“べっちょない”をさけぶ
- ・恋しい、帰りたくなる北播磨
- ・今、食べてるソレ メードイン キタハリマ！
- ・ちょうどええとこ北播磨
- ・ゆるいからこそ良い。みんな「べっちょない！」の北播磨
- ・いいね！が言い合える北播磨
- ・共に創ろう北播磨
- ・「だからできる」北播磨 など



## 《第5回 グループワークまとめ》

2020/11/29 第5回 北播磨の未来を描くワークショップ  
グループワーク「これからの北播磨で大事にしたい要素・ポイント」まとめ

【項目の見方】  
※ ■大事にしたい要素・ポイント  
※ ・その理由

### 《グループ1：テーマ「個人の自己実現」》

- 互いの尊重（いいねが言い合える）
  - ・多様な価値観が叫ばれる社会、外国人の増える北播磨において、互いを尊重出来ないこと、地域がバラバラになる
- 受け入れ側がおもしろがる
  - ・外からの人を否定ではなく、まずは受け入れる
  - ・村への関わりもある程度、価値観を受け止めれば
- 関わりやすさ
  - ・外からでも関わりやすい、入りやすい、つながりを作るために
- 地理的に関わりやすい
  - ・車はOK、県内の高速道路がクロスしている地点
  - ・電車のアクセスは微妙
- 関わりしがある
  - ・関係人口が関われる
  - ・通りすがりの人が関われる
- カメレオンの（周りの環境に変化しやすい地域）
- 安心感
- ゆるいつながり
  - ・自分のやりたいことや活かしたいことを知ったりわかったりするためにも、人とのつながりが必要
  - ・毎日じゃなく、適度なつながりがある
- 住民主導（若い世代が活躍していける）
  - ・労働人口が減る一方、社会課題が増える中、個人の自己実現で、行政主導のまちづくりには限界がある。行政は住民に任せるところは任せ、活動を支援すべき

### 《グループ2：テーマ「多様性・共生共存」》

- 外国人とのつながり
  - ・負の部分→受け入れ→新しいもの
- カテゴリを超えて（海外の方を知る機会）
  - ・ベトナムの方が増えている
- 無知の知（相手を知るのに一歩踏み出す）
  - ・障害、外国の方のところへ入れない、「知らない」から入れない
- 惟しのカチ
  - ・学び続ける ネガティブから転じて人のつながりが広がる
- 互いの尊重（「いいね！」が言い合える）
  - ・多様な価値観が叫ばれる社会、外国人の増える北播磨において、互いを尊重出来ないこと、地域がバラバラになる
- つながり（人と人をつなげる）
  - ・デジタル化が進み、人と人とのつながりが希薄化していく中で、自然豊かで人口の多くない北播磨だからこそ生まれるつながりがある。このアナログさは30年後にも残したい
- 女性視点
  - ふれ合わない人へ興味を持つ
    - ・交流の機会、窓口を知る
    - ・障害の方、国際交流 しかけづくり
  - 変化 スタートの場（北播磨が発信の地となる）
    - ・化学反応
  - べっちょない精神（ゆるく変化する）
    - ・風土がこめられている
    - ・個々から全体へ
- AI
  - ・ICT・AIが発達しても最後は人×人
  - ・人のかかわる事はなくなる
- 自分ごと
  - ・行動につなげる つづいていく

### 《グループ3：テーマ「子育て・教育」》

- 北播磨から世界へつながるまち
  - ・ここにいたら何もできない閉塞感 →時代変わってきている。子どもたち・やりたいことが叶えられる地域に！
- 子供のやりたい！を叶える
  - ・自己肯定感を高める上で子ども時代のやりたいと思ったことを地域の大人（親や先生以外の大人）が叶える経験が返還につながるのではない
- 教育（郷土愛を育める）
  - ・郷土愛を育むカギは教育が担っている。また社会の変化が激しくなり、成人教育の価値も高まっている。北播磨には兵庫教育大学（附属幼稚園・小中学校）、姫野台生涯教育センター、教育研究所があり、県内の教育資源が集中している
- 子供が好きなことができる
  - ・地域で応援、選択できる、交流がある（学校）、自己肯定感、生きる力、安心して子供を預けられる
- 色々な選択肢がたくさんある地域
- 自己肯定感を高める教育・地域
- 地域が家族
  - ・おじいちゃん、おばあちゃん 田植え学校
  - ・見守り合い
  - ・安心してつながれる
- 生きる力を育める
- 移住したくなる地域
  - ・人口減少、少子化を止めるため
  - ・地域の維持
- メッカの創生
  - ・家族、地域社会から当り前の様に伝えられていく言葉（そろばんの入口、小野に行こう）「読み・書き・そろばん」→400年前から言い伝えられている。宗教ではないが、お正月の初詣に行くのが当り前の様に伝えていく

### 《グループ4：テーマ「自然・農業」》

- ちよūdよい自然
  - ・大自然ではない 今あるべき新しい田舎暮らしが提案できる
  - ・住むのに苦勞せず自然に触れられる
  - ・神戸、姫路、大阪に出やすい 高速がある
  - ・むちゃくちゃ田舎ではなく全部ある→文化も自然も 生活不便でない
  - ・大都会でも大自然でもない
- 新しい田舎暮らし
  - ・ちよūdよい自然 田舎だからこそ新しい暮らし・働き方を提案していけそう
- つながり（人と人をつなげる）
  - ・デジタル化が進み、人と人とのつながりが希薄化していく中で、自然豊かで人口の多くない北播磨だからこそ生まれるつながりがある。このアナログさは30年後にも残したい
- だからできる
  - ・全部ある
  - ・北播磨だからこそ
- ないものがない
  - ・海以外は全部ある
- あつて当り前を使う
  - ・川、自然
- 当り前の良さに気づく発見する
- 自分たちが知る
  - ・素材はいいものがあるのに気づいていない
- 私たちがつくる町・地域・日常
  - 田園都市（自然を後世に残していける）
    - ・過疎地でも都会でもない適度な田舎であり、水田からは日本酒の元となる世界に誇れる山田錦が生産されている。この北播磨の特徴は後世にも残したい
  - 地域文化体験型
    - ・体験してみはじめて気付ける、きっかけ
    - ・田植え、食、おにぎり、きき酒、地元食材
- 川を活かす
  - ・川床、川めぐり、川遊び
- 北播磨の農作物は「おいしい！」統一ブランドに
  - ・山田錦→「北播磨米」にする
- 生活の中に農業がある
- 農業のスペシャリストがいるコミュニケーター
  - ・農業と地域の人をつなぐ
  - ・トライやるウィーク
- ブランド農作物（地域資産を守り発信する）
  - ・自然豊かな北播磨では、山田錦以外にも様々な農作物がある。これらが県外でも知られるようになると、北播磨への郷土愛がますます高まる

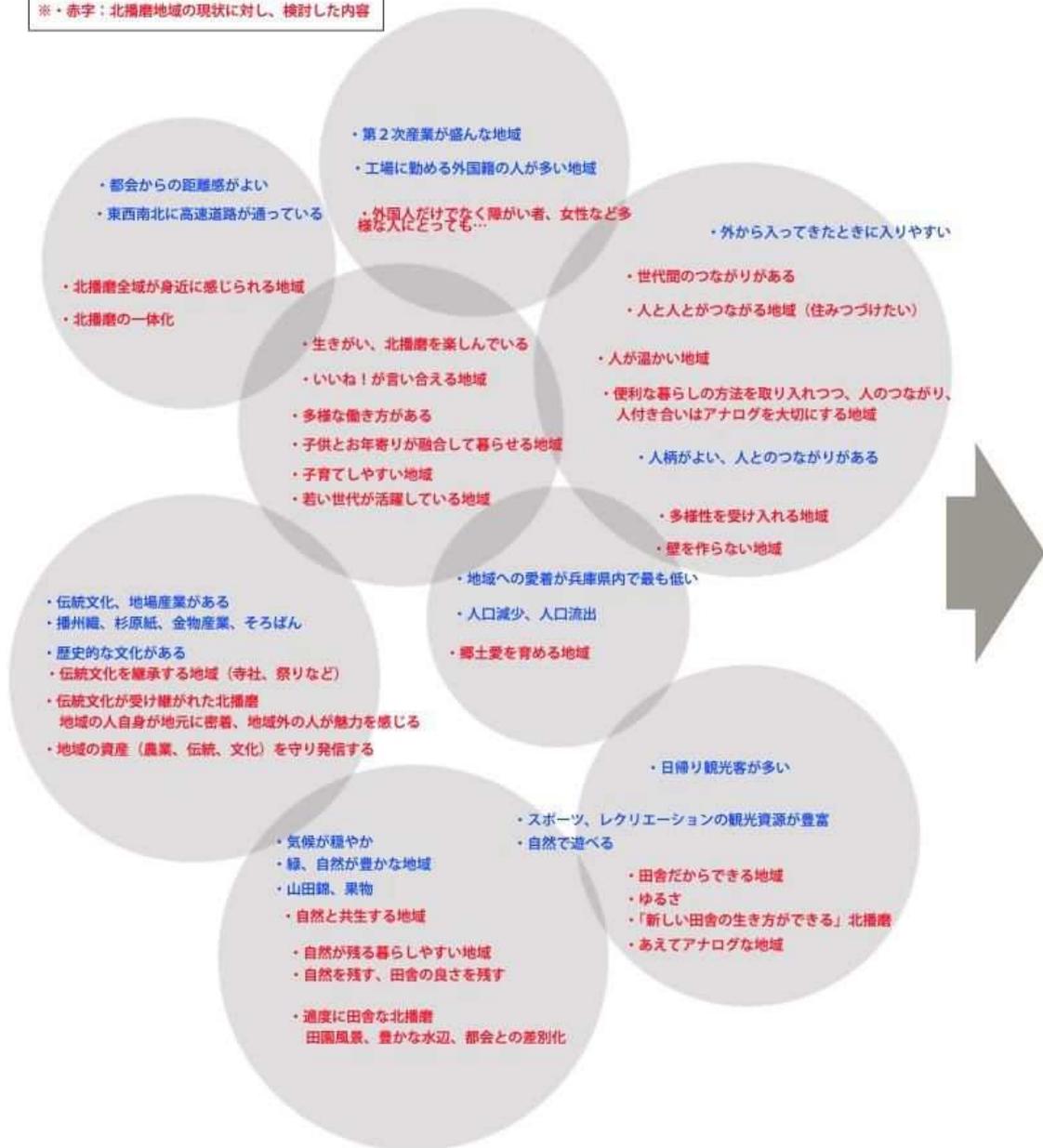
## 地域デザイン会議の全体まとめ

### 地域デザイン案の検討ポイント

#### 【項目の見方】

※・青字：北播磨地域の現状に関すること

※・赤字：北播磨地域の現状に対し、検討した内容



## 地域デザイン案

<p>テーマ：個人の自己実現 「それぞれ個人が自分らしく自己実現をして発信し、互いにつながりながら北播磨の文化を作っている地域」</p>
<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個々の時代としての働き方や暮らし方が求められる中で、より自分の「こう生きたい」「こう暮らしたい」を選択していける地域が魅力的な地域なのでは。</li><li>・自己実現している人が増えると、外の人を受け入れる多様性や地域愛が高まる。</li></ul>
<p>テーマ：多様性・共生共存 「多様な人にとって暮らしやすい共生社会」</p>
<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・外国人の数が増えてきていることは、地域の多様性が高まりつつあることである。多様な人が暮らしやすい社会が改められて求られているきっかけになっているのでは。</li><li>・共生社会を実現するためには、多様な人を受け入れる意識改革が必要。そのためには地域内でのコミュニケーション、交流機会の充実が大切。</li></ul>
<p>テーマ：子育て・教育 「子どもたちが自慢できる地域」</p>
<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「ここにいると何もできない」という閉塞感ではなく、時代に合わせて子どもたちがやりたいことが実現でき、自己肯定感が高まる環境がある地域になれば、人も集まるのでは。</li><li>・子どもたちが地域の大人から学べる機会をどう作るか。遠く的环境ではなく身近な環境、資源を活用できれば。</li></ul>
<p>テーマ：自然・農業 「ちょうどよい自然が育む農産物を中心とした地域文化の体験型魅力を自信を持って発信し、地元の人々が日々新しい発見をできる地域」</p>
<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・様々な良い資源や素材はあるけど、地元のことを知らない人も多い。まずは地域の人々がまずは地元を知って好きになり、このまま住み続けたいと思える地域に。</li><li>・北播磨の自然（山、川）で作られた農産物や観光資源を活かし、体験を通じて地元を知る機会に。また若い世代と年配の人との交流からも新しい地元の発見に。</li></ul>

## キャッチコピー案

- 
- ・ いいね！が言い合える北播磨
  - ・ 共に創ろう北播磨
  - ・ ゆるいからこそ良い。みんな「べっちょない！」の北播磨
  - ・ ひょうごの中心で“べっちょない”をさげぶ
  - ・ べっちょないがつなげる街
  - ・ ちょうどええとこ北播磨
  - ・ 次世代の「やりたい！」を叶えるグローバルな北播磨
  - ・ のんびり あったかい 北播磨時間が標準時
  - ・ 今、食べてるソレ メードイン キタハリマ！
  - ・ 恋しい、帰りたくなる北播磨
  - ・ 「だからできる」北播磨

# 第1回

私たちが思う  
北播磨の強み・魅力

- 工業も盛ん、仕事がある
  - 工業団地
  - 外国の方も多い
- 外から入ってきたときに入りやすい
  - 工業団地など外から人が入ってきたときにすつと入りやすい
  - 外の人を受け入れる下地がある
- 人柄がよく人とのつながりがある
  - 人柄もいい
  - 人間性やさしい
  - 人がやさしい
  - 人がおだやか
  - のんびり
  - 人のあたたかさ
  - 人とのつながり
  - 隣保
  - 元気な高齢者が多い

- 都会からの距離感がいい
  - 交通の便がすごくいい
  - よい距離感で都会にも行きやすい
  - 都会からの距離感
  - 他市への距離感
  - 「日本のへそ」全国から行きやすいし来やすい
  - 東西南北に高速道路が北播磨にも通っている

- 暮らしやすい**ちょうどよい田舎**
  - コンパクトな田舎
  - ほどよいのどかさ
  - 住みよい場所
  - 意外と便利
  - リモートワークにも

- 自然で遊べる
  - 公園が広くて多い
  - キャンプ、コテージ
  - 気球
  - ロードバイク
  - サイクリング
  - ツーリング
  - ネスタリゾート
  - 日本一ゴルフ場多い

- 子育てしやすい
  - 子育て環境 GOOD
  - コンパクトな田舎

- 広い土地 地価もほどほど
  - マイホームが建てやすい
  - 家が多くない
  - ソーシャルディスタンス取りやすい

- 歴史的な文化もある
  - 歴史的な文化が多い
  - 祭
  - 著名人
  - 県内の国宝建造物6箇所の内、3つが北播磨にある

- 緑豊か、自然豊か
  - 空気がきれい、おいしい
  - 夜がしずか
  - 星がきれい
  - 水がきれい
  - 河川が通っている
  - 鮎もいる
  - 動物が多い
  - 生き物がたくさんいる

- 日本の食や文化を支える特産品や地場産業がある
  - ぶどうやいちごなど、果物が美味しい
  - 山田錦 ご飯が美味しい
  - 百日鶏 焼鳥が美味しい
  - 黒田庄牛肉・ジビエ
  - 播州ラーメン・B級グルメ
  - 杉原紙・播州織・金物産業・そば

# 第2回

データで見る北播磨  
地域の将来をイメージ

- 若者が地場産業に関わり、広めている
- 若者が増えている
- 若者が地域で自分がやりたい仕事をしている
- 若い人が生活基盤を作ることができる
- 働き方の変化で暮らしが充実している
- 「地方」のイメージが変化
- 外から来た人がゴルフファーとして育つアカデミーになっている
- 外の人が山田錦のエリアとして注目、日帰り観光地として注目
- 地域外との交流が活発になっている
- 文化芸術活動拠点になっている
- 外国人が多く住む国際エリアになっている
- 移住者が自然のゆたかさを満喫できている

- 若者が地域で趣味を楽しめる
- 若い年代が生活が充実できる地域(スポーツ、自然など)
- 女性が楽しめるまち
- (フォトスポットやおしゃれカフェ等が増えるとか)
- 幅広い世代がスポーツ(ゴルフやテニス)を楽しんでいる
- みんなが健康に暮らしている

- 住民が自分たちの地域は自分たちがつくり盛り上げていく地域
- 自治体が民に任すところは任す、その活動を支援する地域
- 発想が形になるまち
- 子どもが夢を語る地域

- 地域の中での教育が充実している
- 子どもが商売を学べる地域
- 子どもを育て、教えることができる先生、地域
- 兵教大生が「北播磨ええな」と思って北播磨で先生になる
- 外から勉強するために転入しにくる人がいる(中学、高校)

- 女性が子育てとやりたいことを両立している
- 子育て世代が安心して暮らせる。共働きでも子育てしやすい地域

- 子どもからお年寄りまで地元愛・誇りを持っている
- 誇りを持って住めるまち、郷土愛にあふれている地域
- 大人が地域に誇りを持って暮らし、その姿を子どもに見せられている
- 子供が地域行事に参加することを楽しみにしている
- 地域で集まれる場があって近所の人たちのことをみんなが知っている
- シニアが子育て、高齢者がいきいきする居場所がある
- 地域の特性を活かし3世代交流など盛んな地域
- 子どもたちの幅広い交流がある

- 移動手段の充実
- 高齢者が交通手段に困っている・コンパクトシティ
- 移動が簡易になる・障害者が住めるまちづくり

- 山田錦など誇れるものを引き継いでくれる若手が増える
- 若者(デザイナー、農業研究者など)が職人・農家に技術指導している
- 産業職人が伝統を守っている(いいものを残す)
- 大企業の本社移転、誘致

# 第3回

社会の変化(主観)  
自分の将来をイメージ

- 若い世代がイキイキ暮らせる・活躍していける地域
- 地域全体で受け入れる地域
- 壁を作らない地域
- 地域間の交流が盛んな地域
- 北播磨一体化構想・北播磨間のつながり
- 5つの地域の個性を出しながら一体化した地域
- 他地域とつながる北播磨(例:関係人口)
- 「地元と世界が多彩につながる」北播磨

いいね!が言い合える地域

- 多様性、人間性、創造性が発揮できる壁のない境界のない地域
- 多様性を認め合う、受け容れる、共生する北播磨
- (外国人、障がい者、女性、など)
- 住み続けたい地域
- (仕事、行政、文化、利便性=バランスが取れている)
- 便利な暮らしの方法を取り入れつつ、
- 人のつながり、人付き合いはアナログを大切に地域
- 地域愛をもつ人が増える地域
- ゆるさ
- 介護難民ゼロを目指す

- 家族が豊かに生活でき、家族が住みたいと思える地域
- 日本一子供が楽しい子育てしやすい地域
- 子どもとお年寄りが融合して暮らせる地域
- 子ども達が多種多様な経験をできる地域
- 郷土愛を育める地域(伝統文化の継承)
- 北播磨全域が身近に感じられる地域
- (仕事、教育、文化、利便性)
- 若い世代、子どもたちが活動したいできる
- +地域愛がある

- 適度に田舎な北播磨
- 田園風景、豊かな水辺、都会との差別化
- 自然と共生する地域、自然を後世に残す、田舎の良さを残す
- 新しい田舎の生き方ができる
- 家族、子育て、伝統がある地域愛のある地域
- 伝統文化を継承する地域(寺社、祭など)
- 地域の人自身が地元で密着、地域外の人が魅力を感じる
- 地域資産(農業、伝統、文化...)を守り発信する
- 全国展開を視野にした
- 山田錦などなんか尖った地域
- 「だからできる」北播磨

# 第4回

社会の変化(データ)  
北播磨らしい将来像を探る

- 個人の自己実現**
- 受け入れ側がおもしろがる
- 外からでも関わりやすい、入りやすい
- 地理的に関わりやすい、関わりしるがある
- カメレオンの(周りの環境に変化しやすい地域)
- 安心感、ゆるいつながり
- 自分のやりたいこと・活かしたいこと
- 毎日じゃなく、適度なつながり
- 住民主導(若い世代が活躍していける)
- 互いの尊重(いいねが言い合える)

- 多様性・共生共存**
- 互いの尊重(いいね!が言い合える)
- カテゴリーを超えたつながり(外国人・障害者)
- 相手を知るのに一歩踏み出す
- ふれ合わない人(障害者・外国人)へ興味を持つ
- 女性視点
- 交流の機会、窓口を知る、交流のしかけづくり、催しのカタチ
- 人と人がつながる
- デジタル化=リアルなつながりの価値上がる
- ICT・AIが発達しても最後は人×人
- アナログを残したい
- 変化スタートの場(北播磨が発信の地となる)・化学反応
- べっちょない精神(ゆるく変化・風土・個々から全体へ)
- 自分ごと、行動につなげるつづいていく

- 子育て・教育**
- 北播磨から世界へつながるまち
- ここにいたら何もできない閉塞感ではなく
- 子どもたちのやりたいことが叶えられる地域に!
- 自己肯定感を高める教育、生きる力を育める地域
- 地域の大人(親や先生以外の大人)が叶える→郷土愛を育める
- 社会の変化が激し→成人教育の価値も高まる
- 北播磨には県内の教育資源が集中(兵教大、嬉野台生教せ、教研)
- 地域で応援、選択できる、交流がある
- 安心して子供を預けられる=地域が家族(おじいちゃん、おばあちゃん田植小学校)
- 見守り合い、安心してつながれる
- 色々な選択肢がたくさんある地域、移住したくなる地域
- メッカの創生(世界に誇れる伝統産業)

- 自然・農業**
- 私たちがつくる町・地域・日常
- ちょうどよい自然、誇れる文化(世界に誇れる山田錦)
- 不便がない生活環境(神戸、姫路、大阪へのアクセス環境)
- 新しい暮らし・働き方を提案できる
- 田園都市、豊かな自然、海以外は全部ある
- 「北播磨だからこそできる」アナログなつながり
- あって当たり前自然、その良さに気づく発見する
- 地域文化体験型(体験を通じた気付き)生活の中に農業がある
- ・田植え、食、おにぎり、きき酒、地元食材、川を活かす
- 農業と地域の人をつなぐ農業スペシャリストとコミュニケーター
- ブランド農作物(地域資産を守り発信する)
- 北播磨の農作物は「おいしい!」統一ブランド(山田錦→北播磨米へ)
- 山田錦以外の様々な農作物が県外でも知られるように

# 第5回

大事にしたいポイント・要素  
地域像を象徴するキャッチコピー

- ・のんびり あったかい 北播磨時間が標準時(8)
- ・次世代の「やりたい!」を叶えるグローバルな北播磨(6)
- ・べっちょないがつなげる街(6)
- ・ひょうごの中心で「べっちょない」をさげぶ(5)
- ・恋しい、帰りたくなる北播磨(4)
- ・べっちょない長屋(3)
- ・今、食べてるソレ メードイン キタハリマ!やで(3)
- ・ちょうどええとこ北播磨(3)
- ・ゆるいからこそ良い。みんな「べっちょない!」の北播磨(2)
- ・何でも有るで、出て行かんでもべっちょない!(2)
- ・いいね!が言い合える北播磨(2)
- ・共に創ろう北播磨(2)
- ・自分始めよう そして世界へ べっちょないで!!北播磨(2)
- ・子どもも大人も自然も みんなが家族 北播磨(2)
- ・スタートは一歩踏み出すところから(1)
- ・人生の先輩の背中をバクリ、自分を表現する地域(1)
- ・読み書きそらばん北播磨国際村 wow(1)
- ・きみの曇ったハート 晴らせてアゲよう KITA-Harima(1)
- ・「ありがとう」が「あたりまえ」のまち 北播磨(1)
- ・ちょうどよい自然学は、べっちょない北播磨(1)
- ・「意外」と「ええとこ」(1)
- ・ぼちぼちな田舎暮らし(1)
- ・人と地域がゆるくつながる北播磨(1)
- ・「だからできる」北播磨(1)